

6月都議選

改憲、TPP、増税、原発再稼働…

7月参院選

すすめる政党ばかりでよいのでしょうか？

くらし第一をつらぬく党が必要です

昨年、自民、公明、民主3党が「密室談合」で消費税増税を決めました(来年4月から8%、再来年10月から10%)。

今度の選挙結果が、増税の実施を左右します。増税ノー、くらし第一をつらぬいている日本共産党を大きくしてください。

いま必要なのは、「憲法を変える党」ではなく「古い政治を変える党」

安倍首相が「国防軍創設」をいえば、石原「維新」共同代表は「軍事国家になるべきだ」と核武装まで言及。みんなの党も参院選、都議選にむけ「維新」と協力し、改憲を明言しています。

国会議員の3分の2以上の賛成が必要な憲法改正発議の条件を「過半数」にゆるめたら、ときどきの政権の都合のよいように憲法が変えられてしまいます。憲法を守りぬく日本共産党をのばしてください。

都議会 「お金のつかい方を変えよ」と主張する党が必要です

1分1秒つくるのに1億円もかかる大型道路の建設をすすめる一方、福祉や医療の充実、都民のくらしはあとまわしの都政。ところが、自民、公明、民主、「維新」、「みんな」は、予算をはじめ知事提案の全議案に賛成(今年3月の都議会)の「オール与党」です。民主は築地市場の豊洲移転反対などの公約を投げすて、知事に「右にならえ」です。

新宿選出の民主都議は、06年に税金約190万円をつかって豪華海外視察に行き、報告書の一部が他人の論文をほぼ丸写しで非難を浴びましたが、10年にも約180万円つかって海外視察に。新宿選出の自民都議も、11年に約230万円つかって海外視察へ行っています。これでは税金のムダづかいにメスを入れられません。

ブレない
革新

日本共産党がのびれば
政治の流れが変わります
みなさんの願い、
こそって日本共産党に

日本共産党は、戦前から侵略戦争に反対。「憲法に国民主権の原則を」と主張し、実現しました。

自主独立をつらぬき、中国に対して「尖閣は日本の領土」と堂々と主張。北朝鮮に対しては「危険な挑発行為はやめよ」と強く求めています。

憲法違反の政党助成金をもらわないから、「税金のムダづかいをやめよ」と主張できます。